

画像生成AIと著作権：日本における最新の議論と法的解釈

Gemini Deep Research

1. 序論：画像生成AIの台頭と著作権を巡る難題

近年、ChatGPT 4.5に代表される画像生成AI技術は目覚ましい進歩を遂げ、特にアニメ風のキャラクターの固定能力や、ジブリ作品のような温かみのある画像の容易な作成は、利用者の増加と大きな話題を呼んでいます。このような技術革新は、誰もが手軽に高品質な画像を生成できる可能性を広げましたが、同時に、生成されたコンテンツの著作権を巡る議論を活発化させています。特に、既存の著作物の権利を侵害するのではないかという懸念が、クリエイターコミュニティを中心に強く表明されており、その法的解釈と影響について詳細な検討が求められています。[User Query]

この状況は、技術進歩と創造的権利の保護という、知的財産法における普遍的な課題を改めて浮き彫りにしています。新しい技術が登場するたびに、既存の法的枠組みはその適用範囲や解釈を問い直される必要があり、画像生成AIの登場もまた、著作権法に対して新たな視点と対応を要求していると言えるでしょう。本稿では、日本における画像生成AIによって作成された画像の著作権に関する最新の議論と法的解釈を詳細に調査し、利用者の疑問や懸念に応えることを目的とします。

2. 日本の著作権法の基礎とAI生成画像

日本の著作権法は、「思想又は感情を創作的に表現したものであって、文芸、学術、美術又は音楽の範囲に属するもの」（著作物）を保護の対象としています¹。この定義において重要なのは「創作的に表現した」という点であり、現在の法律およびその解釈においては、この創作性の主体は人間であると考えられています²。

したがって、AIが自律的に生成した画像、すなわち人間の思想や感情が直接的に介在せずに、単なるデータ処理の結果として生まれた画像については、原則として日本の著作権法上の著作物とは認められていません²。この考え方は、著作権法が人間の創造活動を保護するための制度であるという基本的な考え方に根ざしています。

しかしながら、人間がAIを道具として利用し、明確な創作意図を持って画像の生成に関与した場合、例えば、非常に詳細なプロンプトを入力したり、生成された画像をさらに選択・編集・加工したりするような場合には、その人間の創作的な貢献が認められ、結果として作成された画像について著作権が発生する可能性があります²。この場合、著作権の主体はAIではなく、AIを創作の道具として用いた人間となります。著作権の発生には、人間の創造的な意図と具体的な創作的寄与が重要な要素となるのです³。

著作権侵害を判断する上で重要な概念として、「類似性」と「依拠性」があります²。

著作権侵害が成立するためには、問題となるAI生成画像が既存の著作物と類似していること、そしてその生成過程において既存の著作物に依拠した（参照した）ことが必要となります²。たとえAI生成画像が既存の著作物と酷似していたとしても、依拠性が認められない場合（例えば、AIが特定の著作物を学習しておらず、利用者がその著作物を知らなかった場合など）には、著作権侵害は成立しないと考えられます¹⁷。

3. 日本におけるAI学習への著作物利用の合法性

画像生成AIの学習データには、著作権で保護された画像が大量に含まれていることが一般的です。この学習行為が著作権侵害にあたるのかどうかは、日本の著作権法第30条の4によって判断されます³。この条項は、「著作物に表現された思想又は感情の享受を目的としない利用」（非享受利用）であれば、著作権者の許諾なしに著作物を利用できると定めており、AIの学習は一般的にこの「情報解析」に該当すると解釈されています³。

この規定の適用には、「享受を目的としない」という要件が重要です²。AI学習の目的は、著作物そのものを鑑賞したり、他人に鑑賞させたりすることではなく、著作物に含まれるデータやパターンを解析し、新たなコンテンツを生成する能力を獲得することであると考えられます。したがって、この要件を満たす限り、原則として著作権者の許諾は不要となります。

ただし、著作権法第30条の4には、「著作権者の利益を不当に害することとなる場合」にはこの規定は適用されないという例外が存在します²。この例外の解釈は必ずしも明確ではなく、個別の事例ごとに判断されることになりますが、例えば、特定のクリエイターの作品を主要な学習データとして、その作風を意図的に模倣した作品を生成することを目的とした利用などは、この例外に該当する可能性が指摘されています⁶。また、海賊版などの違法にアップロードされた著作物を学習データとして利用することも、著作権者の利益を不当に害するものとみなされる可能性があります²⁸。

米国では、日本のような包括的なAI学習に関する規定はなく、「フェアユース」の原則に基づいて判断されます¹⁵。フェアユースは、批評、解説、報道、教育、研究などの目的での著作物の利用を、一定の条件下で著作権侵害としないとする原則であり、その判断は個々の事例の状況を総合的に考慮して行われます¹⁵。

4. アニメ風・ジブリ風画像生成と著作権侵害の可能性

画像生成AIが特定のスタイル（例えば、アニメ風やジブリ風）を模倣する能力は、著作権侵害のリスクと深く関連しています。著作権法は、アイデアやスタイルといった抽象的な概念ではなく、具体的な表現を保護するため¹、単に特定のスタイルに似た画像を生成する行為自体は、直ちに著作権侵害とは言えません¹。

しかし、生成された画像が、特定の著作物（例えば、特定のアニメ作品のキャラクターや背景美術など）の具体的な表現要素を著しく類似させている場合、著作権侵害となる可能性があります²。特に、既存の著作物に登場するキャラクターをAIが忠実に再現できるようになったことで、キャラクターの著作権侵害に対する懸念が高まっています²。キャラクターは、その独特な外観や特徴によって著作物として保護されることが一般的です。

この点に関して、「キャラクターの固定能力」が高いAIによって生成された画像が、既存の著作物のキャラクターと実質的に同一または類似していると認められ、かつその生成において元の著作物に依拠したと判断される場合には、著作権侵害が成立する可能性が高くなります。依拠性の判断においては、AIが学習データとして当該キャラクターを含む著作物を学習していたか、またAIの利用者がそのキャラクターを認識していたかなどが考慮されます²。

現時点では、AIによるスタイル模倣に関する明確な判例は少ないものの、著作権侵害の判断は、既存の著作物との類似性の程度や、依拠性の有無といった従来の著作権法の原則に基づいて行われると考えられます²。今後の法的解釈の進展が注目されます。中国における「ウルトラマン」に酷似したAI生成キャラクターに関する訴訟事例⁴は、AIによるキャラクターの著作権侵害が実際に争われる可能性を示唆しています。

5. 画像生成AI利用者の増加と著作権侵害を主張する意見

画像生成AIの利用が拡大するにつれて、著作権侵害を主張する意見も増加しています。これらの意見の具体的な内容は、主に以下の点に集約されます。

- **学習データへの無断利用:** 多くのクリエイターは、自身の著作物がAIの学習データとして、許可なく、また対価も支払われることなく利用されていることに強い不満を抱いています¹¹。彼らは、自身の創造的な努力の成果が、AI技術の発展のために一方的に利用されていると感じています¹¹。
- **スタイルの模倣による脅威:** AIが容易に特定のアーティストのスタイルを模倣できることは、オリジナリティを重視するアーティストにとって、自身の独自性が脅かされるという懸念につながっています²。
- **キャラクターの無断複製:** AIが既存の著作物のキャラクターを高い精度で再現できることは、キャラクターの著作権者にとって、自身の権利が侵害されるリスクを高めるものと認識されています²。
- **AI生成コンテンツの商用利用:** AIによって生成された画像が、あたかも人間が創作したかのように商用利用されることに対して、既存のクリエイターは不公平感を抱いています³⁴。

これらの意見の根拠となっている法律や考え方としては、著作権法における複製権、翻案権、著作者人格権などが挙げられます²。クリエイターは、AIによる学習が著作物の

複製にあたり、AIによるスタイル模倣やキャラクター複製が翻案権や複製権を侵害する可能性がある」と主張しています。また、自身の意図しない形で作品が利用されることに対して、著作者人格権（特に同一性保持権や氏名表示権）の侵害を訴える声もあります³⁵。

6. 生成AIによる学習と人間の学習プロセスの比較

生成AIによる学習と人間の学習プロセスは、表面上は類似しているように見えますが、著作権の観点からは重要な違いと類似点が存在します⁴。人間は、既存の作品を観察し、研究し、そこからインスピレーションを得て新たな作品を創造します³⁸。この過程は、個人の解釈や経験に基づいたものであり、多くの場合、元の作品とは異なる独自の表現を生み出します。

一方、AIは、大量のデータから統計的なパターンを学習し、そのパターンに基づいて新しいコンテンツを生成します⁴。AIの学習は、人間の学習のように理解や感情を伴うものではなく、あくまでデータ処理のプロセスです。

著作権の観点から見ると、人間が既存の作品からアイデアやスタイルを学ぶことは、一般的に「学習の自由」として認められており、著作権侵害とはみなされません¹。著作権法は、アイデアやスタイルそのものではなく、具体的な表現を保護するからです¹。

しかし、AIによる学習は、既存の著作物をデータとして複製する行為を伴います。この複製行為が著作権法上の問題となるかどうか、議論の焦点となっています。日本の著作権法第30条の4は、一定の条件下で情報解析のための著作物の利用を認めていますが、これは「享受を目的としない」場合に限られます³。AIによる学習がこの条件を満たすかどうか、そして「著作権者の利益を不当に害する」場合に該当しないかどうか、重要な判断基準となります。

7. 画像生成AIの著作権問題を理解するための例え話や類似の事例

画像生成AIの著作権問題を理解する上で、音楽のサンプリングやパロディといった、既存の著作物を利用する他の創作活動の例えが参考になります⁴⁰。

音楽のサンプリング: 既存の楽曲の一部を切り取り、新しい楽曲に取り込むサンプリングは、著作権法上の複製権や編曲権に関わる問題を引き起こします⁴⁰。サンプリングを行う際には、原則として著作権者の許諾を得る必要がありますが、著作権侵害を回避するためのガイドラインやライセンス制度も存在します。AIによる学習も、既存の画像をデータとして「サンプリング」していると捉えることができ、同様の法的課題を抱えていると言えるでしょう。

パロディ: 既存の著作物を改変し、風刺やユーモアの表現を行うパロディは、著作権法

上の翻案権に関わります⁴⁰。パロディは、元の著作物を批判したり、新たな視点を提供したりする文化的な意義を持つ場合があり、一定の条件下で著作権侵害が免除されることもあります。AIが生成する画像が、既存の著作物のパロディとして解釈できる場合、著作権侵害の成否は、そのパロディの性質や元の著作物に与える影響などを考慮して判断されることになります。ただし、AIによるパロディの作成においては、元の著作物の意図を歪めたり、著作者の名誉を毀損したりする可能性も指摘されています⁴²。

例え話	説明	関連する著作権の概念	AI画像生成との類似点
音楽のサンプリング	既存の楽曲の一部を新しい楽曲に取り込む	複製権、編曲権、ライセンス	AI学習における著作物のデータとしての利用、利用許諾の必要性
パロディ	既存の著作物を改変して風刺やユーモアを表現する	翻案権、フェアユース	AIが既存のスタイルやキャラクターを模倣した画像を生成する際の法的評価
ファンアート	既存の著作物のキャラクターや世界観に基づいて作成された非公式の作品	翻案権、フェアユース、著作権者の黙認	AIが生成する既存の著作物に類似した画像の法的地位

8. 今後の画像生成AIの発展と著作権保護の両立に向けた課題と解決策

画像生成AI技術は今後も発展を続け、より高度で多様な表現が可能になると予想されます。この発展と著作権保護を両立させるためには、以下のような課題と解決策を考慮する必要があります。

課題:

- **既存の法的枠組みの限界:** 現在の著作権法は、AIのような自律的な技術の登場を想定して設計されておらず、その適用範囲や解釈には曖昧な部分が残されています²。
- **著作権者の権利保護とAI開発の促進のバランス:** 著作権者の権利を過度に保護することはAI技術の発展を阻害する可能性があり、逆にAI開発を優先しすぎるとクリエイターの創作意欲を損なう可能性があります²。
- **AI生成物の著作権の所在:** AIが生成した画像に著作権を認めるべきかどうか、認める場合に誰に帰属するのかについての明確な国際的な合意はまだ形成されていません

ん⁷。

- **グローバルな対応の必要性:** AI技術は国境を越えて利用されるため、国際的な連携や調和の取れたルール作りが求められます²。

解決策:

- **著作権法の明確化・改正:** AIによる学習に関する著作権法第30条の4の適用範囲をより明確化したり、AI生成物に関する新たな規定を設けたりすることが考えられます³。米国で提案されている「生成AI著作権開示法案」¹⁵は、学習データの透明性を高める一つの方向性を示唆しています。
- **技術的な対策:** AIが学習データとして著作物を利用する際に、著作権者の意向を尊重する仕組み（例えば、オプトアウトの提供²）や、生成されたコンテンツが既存の著作物と過度に類似することを防ぐ技術の開発²が重要です。また、AI生成コンテンツであることを示す透かし技術¹¹やメタデータの活用も有効です¹¹。
- **業界におけるベストプラクティスの策定:** AI開発者、利用者、著作権者間で、倫理的なガイドラインや利用規約を策定し、透明性の高い情報共有を進めることが、無用な紛争を避けるために重要です²。
- **国際的な議論と協力:** 世界知的所有権機関（WIPO）などを中心に、AIと著作権に関する国際的な議論を活発化させ、共通の理解や原則を形成していくことが求められます²。

9. 結論：進化するAIと著作権の調和を目指して

本稿では、画像生成AIによって作成された画像の著作権に関する最新の議論と法的解釈について、日本における現状を中心に詳細に検討してきました。AI技術の急速な発展は、著作権法に対して新たな課題を提起しており、特に学習データの利用、スタイルやキャラクターの模倣、そして生成されたコンテンツの権利帰属といった点において、様々な議論と懸念が存在することが明らかになりました。

現時点では、日本の著作権法は、AIが自律的に生成した画像には著作権を認めていませんが、人間の創造的な関与があれば著作権が発生する可能性を示唆しています。また、AI学習における著作物の利用は、原則として著作権法第30条の4によって許容されていますが、「著作権者の利益を不当に害する」場合には例外となる可能性があります。

今後、画像生成AI技術がさらに進化していく中で、著作権保護とのバランスをどのように図っていくかが重要な課題となります。そのためには、法的な枠組みの整備、技術的な対策の導入、そして業界における倫理的な規範の確立が不可欠です。また、国際的な動向を注視し、グローバルな視点での議論と協力も重要となるでしょう。

画像生成AIは、創造活動に新たな可能性をもたらす一方で、既存のクリエイターの権利や創作意欲に影響を与える可能性も秘めています。技術の恩恵を最大限に活かしつつ、

著作権者の権利を適切に保護し、健全な創作エコシステムを維持していくために、今後も継続的な議論と対応が求められます。

免責事項

本レポートはGeminiによって生成されたものであり、私 (<https://x.com/gatyoukatyou>) はこれに対する著作権を有しません。本レポートの内容は自由にご利用いただけますが、AIによる生成であるため、ハルシネーション（事実に基づかない情報）が含まれる可能性があります。また、本レポートは査読等の検証を経ていないため、エビデンスとして使用することはできません。本レポートの内容に基づいて行われた行動およびその結果については、自己責任となります。

引用文献

1. 生成AIで作った文章・画像は、著作権法に違反していないのか？ | docomo business Watch, 4月 3, 2025にアクセス、
https://www.ntt.com/bizon/copyright_ai.html
2. 【知っておきたい】生成AI活用と著作権侵害のリスク - パワー・インタラクティブ, 4月 3, 2025にアクセス、
https://www.powerweb.co.jp/knowledge/columnlist/generative_ai_copyright/
3. 生成AIで著作権を侵害する可能性はある？日本と海外の違い、利用ガイドライン制定について解説, 4月 3, 2025にアクセス、
<https://compliance.lightworks.co.jp/learn/copyright-generation-ai/>
4. 生成AIと著作権問題：事例や侵害リスク、ガイドラインを徹底解説, 4月 3, 2025にアクセス、 <https://axia-company.co.jp/column/seisei-ai/>
5. 【2024年版】AI生成画像の利用における著作権対策 - ベイクロスマーケティング株式会社, 4月 3, 2025にアクセス、
<https://www.baycross.jp/column/production/ai-copyright>
6. AIと著作権の問題！イラスト・画像生成や機械学習の適法性について解説, 4月 3, 2025にアクセス、 <https://kigyobengo.com/media/useful/3370.html>
7. AIで生成した作品の著作権はどうなる？注意点や実際の事例を徹底解説 | AI総合研究所, 4月 3, 2025にアクセス、
<https://www.ai-souken.com/article/ai-generated-copyright-explanation>
8. 画像生成AIの著作権は？著作権侵害にあたるケース・あたらないケースを解説, 4月 3, 2025にアクセス、
<https://gen-ai-media.guga.or.jp/glossary/image-generation-ai-copyright/>
9. AIによる創作物と著作権、基本的な考え方と課題 | 弁護士 西尾 公伸 - note, 4月 3, 2025にアクセス、 <https://note.com/authense/n/ne9b800e9f68a>
10. www.docuSign.com, 4月 3, 2025にアクセス、
<https://www.docuSign.com/ja-jp/blog/AI-Engineer-Explains-Copyright-for-Generative-AI-Content#:~:text=%E7%94%9F%E6%88%90AI%E3%81%A7%E4%BD%9C%E3%82%89%E3%82%8C%E3%81%9F%E3%82%B3%E3%83%B3%E3%83%86%E3%83%B3%E3%83%84%E3%81%AB%E3%81%A4%E3%81%84%E3%81%A6%E3%80%81%E8%BF%91%E5%B9%B4%E3%80%81%E8%91%97%E4%BD%9C,%E3%82%8C%E3%81%AA%E3%81%84%E3%81%9F%E3%82%81%E3%81%A7%E3%81%99I>

[%E3%80%82](#)

11. 生成AIで作った文章や画像は著作権侵害にあたるのか？利用時に留意 ..., 4月 3, 2025にアクセス、
<https://www.docuSign.com/ja-jp/blog/AI-Engineer-Explains-Copyright-for-Generative-AI-Content>
12. 【最新版】生成AIと著作権 - 基本から実践的な活用まで - ブルーアール株式会社, 4月 3, 2025にアクセス、
<https://blue-r.co.jp/blog-generative-ai-copyright/>
13. 生成AI (LLM・画像生成) の著作権に関する最新情報まとめ！侵害になるケース・事例・注意点を徹底解説！ - AI Market, 4月 3, 2025にアクセス、
<https://ai-market.jp/howto/copyright-generative-ai/>
14. AIが生成した文章やイラストの著作権はどうなる？著作権侵害にあたるか、弁護士が解説！, 4月 3, 2025にアクセス、
<https://www.authense.jp/komon/blog/dx-legaltech/2838/>
15. www.marubeni.com, 4月 3, 2025にアクセス、
https://www.marubeni.com/jp/research/report/data/20241111_HP.pdf
16. AIで生成したものの著作権はどうなる？注意したいポイント - 日立ソリューションズ・クリエイト, 4月 3, 2025にアクセス、
<https://www.hitachi-solutions-create.co.jp/column/technology/ai-copyright.html>
17. 生成AIに関する著作権法上のリスクは？文化庁の「考え方」についても解説 - TD SYNEX BLOG, 4月 3, 2025にアクセス、
<https://jp.tdsynnex.com/blog/ai/generated-ai-copyright-risks/>
18. AIと著作権に関する論点整理について - 文化庁, 4月 3, 2025にアクセス、
https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkashingikai/chosakuken/hoseido/r05_01/pdf/93918801_03.pdf
19. 画像生成AIの著作権問題とは？「類似性」と「依拠性」から考える商用利用の法務リスク, 4月 3, 2025にアクセス、
<https://www.pressman.ne.jp/archives/25693>
20. AIと著作権（著作権侵害） | 日高法律事務所, 4月 3, 2025にアクセス、
<https://fukuoka.law/ai%E3%81%A8%E8%91%97%E4%BD%9C%E6%A8%A9%E4%BE%9D%E6%8B%A0%E6%80%A7%E4%BC%89/>
21. 著作権侵害になる？生成AIと著作権の関係 - 弁護士 坂生雄一, 4月 3, 2025にアクセス、
<https://bengoshi-sakao.com/column/%E8%91%97%E4%BD%9C%E6%A8%A9%E4%BE%B5%E5%AE%B3%E3%81%AB%E3%81%AA%E3%82%8B%E4%BC%9F%E7%94%9F%E6%88%90%E3%81%A8%E8%91%97%E4%BD%9C%E6%A8%A9%E3%81%AE%E9%96%A2%E4%BF%82/>
22. AIに使う学習データは著作権を侵害する？最新の著作権法をもとに解説, 4月 3, 2025にアクセス、
<https://shift-ai.co.jp/blog/5413/>
23. ～AI社会の到来に備える～ AI学習が許されるのはなぜ？AI生成物が著作権、隣接権、肖像権を侵害する？ 寺内康介 | コラム | 骨董通り法律事務所 For the Arts, 4月 3, 2025にアクセス、
<https://www.kottolaw.com/column/230427.html>
24. ChatGPTの著作権リスクは？商用利用はOK？利用時の注意点を解説 - Alsmiley, 4月 3, 2025にアクセス、
https://aismiley.co.jp/ai_news/chatgpt-risk-and-point/
25. 【弁護士解説】論点整理！生成AIに関する著作権法上の解釈まとめ - GVA法律事務所, 4月 3, 2025にアクセス、
<https://gvalaw.jp/blog/b20230810>
26. 改正著作権法 第30条の4解説：AI・ビッグデータ時代の著作権法 - 虎ノ門法律特

- 許事務所, 4月 3, 2025にアクセス、
<https://chosakukenhou.jp/%E6%94%B9%E6%AD%A3%E8%91%97%E4%BD%9C%E6%A8%A9%E6%B3%95-%E7%AC%AC30%E6%9D%A1%E3%81%AE%EF%BC%94%E8%A7%A3%E8%AA%AC%EF%BC%9Aai%E3%83%BB%E3%83%93%E3%83%83%E3%82%B0%E3%83%87%E3%83%BC%E3%82%BF%E6%99%82/>
27. 初心者にもわかる！改正著作権法 第30条の4解説：AI・ビッグデータ時代の「柔軟な権利制限規定」を中心に - note, 4月 3, 2025にアクセス、
<https://note.com/chosakuken/n/n33e83ffcc04e>
 28. 「AIと著作権に関する考え方について（素案）」の公表 - 牛島総合法律事務所, 4月 3, 2025にアクセス、
https://www.ushijima-law.gr.jp/client-alert_seminar/client-alert/20240116ai_copyright/
 29. AIでの学習・生成と著作権の関係は？著作権侵害に該当するケースと合わせて解説, 4月 3, 2025にアクセス、
https://www.kittenlawoffice.com/column/copyright_for_ai/
 30. AIと著作権Ⅱ - 文化庁, 4月 3, 2025にアクセス、
https://www.bunka.go.jp/seisaku/chosakuken/pdf/94097701_02.pdf
 31. 生成AIの著作権侵害の事例7選！企業のリスクと具体的対策を解説 - 株式会社アドカル, 4月 3, 2025にアクセス、
<https://www.adcal-inc.com/column/copyright-infringement/>
 32. 生成AIに関連する日本の事件と著作権問題の事例 - ainow, 4月 3, 2025にアクセス、
<https://ainow.jp/ai-related-incidents-and-copyright-issues-in-japan/>
 33. 知らないと危険！生成AIによる著作権侵害の事例と対策 | 合同会社Joint Idea, 4月 3, 2025にアクセス、
<https://joint-idea.co.jp/blog/generative-ai-copyright-infringement-case/>
 34. 生成AIによる画像の利用、イラストレーターの86.7%が「著作権意識する」、一般回答者を約10pt上回る結果に（Appliv調べ） | ナイル株式会社のプレスリリース - PR TIMES, 4月 3, 2025にアクセス、
[https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000366.000055900.html](https://prt看mes.jp/main/html/rd/p/000000366.000055900.html)
 35. イラストレーターをしています。 - 1264 - 生成 AIに関しまして, 4月 3, 2025にアクセス、
https://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/chitekizaisan2024/pdf/iken_kojin_2.pdf
 36. 生成系AIが作ったイラストや文章に著作権はあるの？ 専門家に聞いてみた、デジタル時代の著作権の在り方【後編】 | in.LIVE（インライブ） | 技術と人をつなぐテックメディア, 4月 3, 2025にアクセス、
<https://www.asteria.com/jp/inlive/social/6417/>
 37. 「「生成AIを巡る競争」に関する情報・意見」 | NAFCA 一般社団法人日本アニメフィルム文化連盟, 4月 3, 2025にアクセス、
<https://nafca.jp/public-comment08/>
 38. 著作権教育5分間の使い方, 4月 3, 2025にアクセス、
https://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/tyousakai/kensho_hyoka_kikaku/2017/consortium_kentou/dai1/siryou5.pdf
 39. 著作権法とは？基本を分かりやすく解説！ - 契約ウォッチ, 4月 3, 2025にアクセス、
https://keiyaku-watch.jp/media/hourei/chosakukenhou_kihon/
 40. 名画の著作権と生成AIでの取り扱いについて【パロディ】 - AILANDs, 4月 3, 2025にアクセス、
<https://dc-okinawa.com/ailands/copyright01/>

41. AI時代の『肖像権』『人声権』『声のパブリシティ権』とは？一声の無断利用から自分を守る方法をわかりやすく解説 - note, 4月 3, 2025にアクセス、
<https://note.com/chosakuken/n/nfb664ffbd3f3>
42. 「AI時代における知的財産権」 | NAFCA 一般社団法人日本アニメフィルム文化連盟, 4月 3, 2025にアクセス、
<https://nafca.jp/public-comment01/>